

教育目標【自ら学び 生かす 心豊かな生徒の育成】

幸福度ナンバーワンの学校をめざそう！

厚保中学校だより

平成30年

12月号

“人生は思ったとおりになる…？”

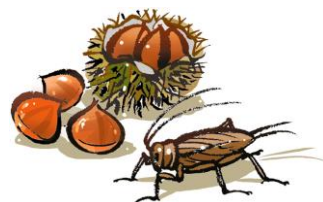
校長 松本 恵理子

生徒たちにとっての一大イベント「文化祭」も終わり、周りの山々の色づきが深みを増す季節となりました。日に日に寒さが増す早朝のグラウンドには、駅伝部の生徒たちが元気な姿を見せています。当番生徒も毎朝掃除をし、さわやかな笑顔で「おはようございます」と言ってくれます。裏面にも載せていますが、「あつ文化祭」は、厚保中学校文化祭と地域の文化祭の共同開催です。公民館と厚保中体育館を会場に生徒、保護者、地域の方々みなでつくりあげた“平成最後の忘れられない思い出”となった一日でした。

さて、大きな学校行事も一段落し下校時刻も早くなったこの時期は、自分をみつめ、他者や社会などについて考える人も多いのではないのでしょうか。思春期特有の悩みも出てくるかもしれません。しかし、「自分と向き合う」ことはとても大切だと思います。私の好きな曲の1つ『プレゼント』は、人間関係に悩むその時もいつか自分へのプレゼントだったと思える時が来るという歌詞です。悩みが大きければ、そんなに簡単に解決することはできませんし、苦しみも大きいとは思いますが、支えてくれる人は必ずいて、きっと乗り越えられる力が自分にはあると信じてほしいと思います。

以前、聴いた講演会でのこんな言葉が心に残っています。

“人生は思い通りにはならないが、思ったとおりになる”というものです。物事は自分の好き勝手にはなりません、自分がこうしたい、こんな風になりたいと強く想い、それに向けて志を強くもてば実現するという意味かと思えます。逆に、きっとだめに違いない、やっても失敗に終わる、どうせ自分なんか・・・と考えると本当にそうなるかもしれません。自分の生き方を決めるのは自分、そう信じて進みたいものです。



乱気流もあります
長い旅だから
(吉田紫水 作)

「心に響く講師派遣事業」道徳学習会開催

山口県教育委員会の事業で、本校第24代校長、現下関教育委員会教育長、児玉典彦様をお招きし、本校生徒、教職員、他校の先生、地域の方対象に道徳の師範授業をしていただきました。いじめに関して取り返しのつかない過ちを犯した人の話を題材に“大人の階段を登る”ことについて真剣に向き合い、深く考えることのできた時間となりました。



12月の主な行事

- 2日(日)市駅伝競走大会
- 4日(火)災害ボランティア講演
- 7日(金)校内マラソン大会
- 11日(火)3年保護者懇談
- 13日(木)生徒会役員選挙
- 14日(金)学校評価アンケート
- 19,20日 1,2年保護者懇談
自由参観
- 21日(金)終業式
- 28日(金)公務納め

地域と共に・・・特集！あつ文化祭

Moving Festival～平成最後の忘れられない思い出～のスローガンのもと、平成最後のあつ文化祭が開催されました。たくさんの感動が生まれたすばらしい文化祭になりました。



タイヤ太鼓



実行委員会企画
オープニング
クロージング

厚保の文化祭は地域の方と協力して作り上げる文化祭です。今回も地域の方が出演していただき、ありがたいと思いました。
(実行委員長 3年中山美和)

『みんなの先頭に立つ人間の大変さ』自分から動き出さないと始まらないし、責任もありました。でもその分、成功したときの満足感が倍になりました。

(実行委員 2年重枝花菜)



1年学年劇「ベンチ」



2年学年劇「あやかしの夜」



3年学年劇「あーたんばーたん」

有志などは強制参加ではないので僕はしなかったけれど、有志の人などを見て、文化祭は積極性が大切だと分かりました。

(実行委員 1年篠原奏太)



ソーラン



全校合唱



もちまき



展示風景

町民ハイキング

11月4日、中学生が企画に参加した町民ハイキングが実施されました。途中の史跡の説明や、昼食後のゲームを担当しました。



ジオ学習

11月8日、「Mine 秋吉台ジオパーク探訪」を実施しました。ふるさとの魅力を再発見した1日となりました。



小中合同クリーン作戦

11月14日、地域のみなさんの御協力を得て、クリーン作戦を実施しました。

